

AUTOPHAGY CONSORTIUM

To disseminate high quality information on autophagy
and ensure social acceptance.

日本オートファジーコンソーシアム活動および オートファジーの日制定について

日本オートファジーコンソーシアム事務局長

石堂 美和子

日本オートファジーコンソーシアム：組織・会員

代表理事

吉森 保 大阪大学 栄誉教授

理事

水島 昇 東京大学 教授

小松 雅明 順天堂大学 教授

松川 泰治 味覚糖株式会社

卯川 裕一 株式会社ダイセル

矢野 博子 小林製薬株式会社

社員

吉森 保 大阪大学 栄誉教授

水島 昇 東京大学 教授

小松 雅明 順天堂大学 教授

株式会社AutoPhagyGO

ユーハ味覚糖株式会社

花王株式会社

株式会社ダイセル

小林製薬株式会社

株式会社協和

アドバイザーボード

神吉 智丈 新潟大学 教授

斉木 臣二 筑波大学 教授

阪井 康能 京都大学 教授

野田 健司 大阪大学 教授

野田 展生 北海道大学 教授

秦野 伸二 東海大学 教授

顧問

内山 安男 順天堂大学 特任教授

徳増 有治 大阪大学 特任教授

最高顧問

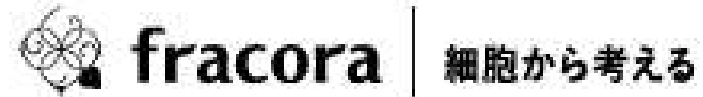
大隅 良典 東京工業大学 栄誉教授

会員

アカデミア会員 87名、社員企業会員 6社 特別企業会員 7社 賛助企業会員 9社 (2023年1月現在)

日本オートファジーコンソーシアム：企業会員

社員企業会員



特別企業会員



賛助企業会員

(他非開示2社)



(2023年1月現在)

日本オートファジーコンソーシアム：主な取り組み

以下の複数のワーキンググループで多角的な活動を進めています

啓発活動

市場調査・啓発活動
の企画・実施

ネットワーク構築

情報交換会の企画

シンポジウム

シンポジウムの企画

認証・標準化

認証・標準化の
プランニング

パッケージ表示 標準化

パッケージ表示に
対する認証・標準化
のプランニング

エビデンス創出

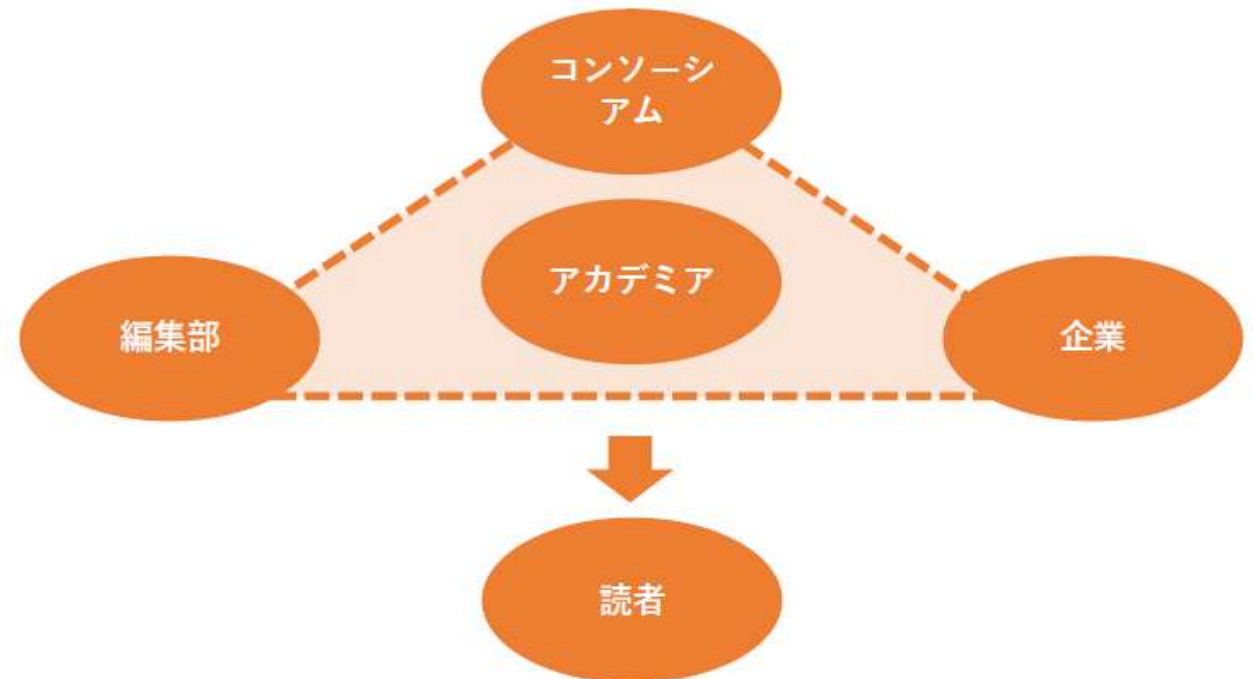
エビデンスマップ作り
(既存のエビデンスに
関する情報収集等)

日本オートファジーコンソーシアム：主な取り組み



○オウンドメディアの企画

日本がリードするオートファジー研究について、世の中に「正しく」「わかりやすく」広めることを第1目的とし、アカデミアを中心にした体制で制作を進めております。



第2回日本オートファジーコンソーシアムシンポジウム



2ND SYMPOSIUM
第2回日本オートファジーコンソーシアムシンポジウム

2022.09.16

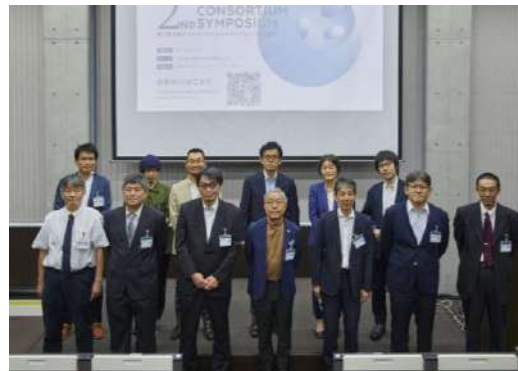
会場 三洋化成工業株式会社研修ホール
開催形式 会場およびオンラインのハイブリッド形式
参加資格 会員参加
申込期間 2022年9月18日まで
特別ページ https://autophagy-consortia.com/2nd_symposium

ハイブリッド開催

シンポジウムプログラム

08:50	開場
09:20	開会
09:30	「Bioenergetics matters to metabolic health – from a view of brown fat」 演者：梶村 真昌 (HHMI Investigator, Harvard and BMC)
10:00	基調講演「マイトファジー研究から考える医療応用の可能性」 演者：神吉 智丈 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 教授)
10:50	「オートファジーによる植物エネルギー産生オルガネラの機能制御」 演者：京 正範 (国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学センター 分子生命制御研究チーム 上級研究員)
11:20	休憩
11:35	「パーキンソン病の病態とミトコンドリア品質管理の破綻」 演者：佐藤 梨人 (福天堂大学大学院 脳神経内科・疾患モデル研究室 兼任准教授)
12:05	「 β 細胞特異的マイトファジーレポーターマウスによって明らかになった糖尿病におけるミトコンドリア品質管理の重要性」 演者：青柳 英太 (杏林大学 医学部 細胞生化学教室 准教授)
12:35	休憩
12:45	ランチョン mtg

12:45	「コンソーシアムの活動状況報告 (仮)」 演者：一般社団法人日本オートファジーコンソーシアム事務局
13:15	「オートファジー活性測定：これまで、そしてこれから」 演者：小松 肇明 (順天堂大学大学院 医学研究科 病態・細胞生理 主任教授)
13:25	「哺乳類細胞におけるオートファジーフラックスの定量的・客観的測定方法」 演者：水島 賢 (東京大学大学院 医学系研究科 教授)
13:55	休憩
14:10	「大阪大学吉森研究室で開発したオートファジー活性測定方法について」 演者：中村 啓平 (大阪大学 高等共創研究 准教授)
14:35	「IL13 アクセシビリティの産業活用」 演者：石堂 美和子 (株式会社 AutoPhagyGO 代表取締役社長)
14:45	「マイトファジーを可視化、検出する蛍光タンパク質プローブ」 演者：片山 博幸 (国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター 細胞機能探索技術研究チーム 研究員)
15:15	休憩
15:25	「パーキンソン病分子病態に基づく診断、治療の新たな試み」 演者：齊木 田二 (順天堂大学大学院 医学研究科 脳神経学 兼任准教授)
15:55	「先端質量分析を用いた in vivo 生化学研究の展開」 演者：杉浦 悠樹 (京都大学 大学院医学研究科 附属 がん免疫総合研究センター 特任准教授)
16:25	「共焦点定量イメージングサイトメーター CQ1 を使ったハイコンテントアナリシスの可能性」 演者：岸本 裕樹 (株式会社 株式会社 ライフ事業本部 営業・ソリューションセンター 営業部 営業技術課)
16:55	閉会



2022年9月16日、第2回日本オートファジーコンソーシアムシンポジウムを、会場およびオンラインのハイブリッド形式で開催しました。産業界、大学関係者ら約200名の方々にご参加いただきました。

第3回日本オートファジーコンソーシアムネットワークキング会

2022年11月24日資生堂グローバルイノベーションセンター（S/PARK）にて開催。

2022.10.21

第三回ネットワークキング会 開催のお知らせ

各会員間の情報交換と相互親睦などのため、第三回ネットワークキング会を開催致します。
詳細は随時更新してまいります。開催概要は下記の通りです。

日時：2022年11月24日（木）17:00~21:30頃

形式：会場開催

会場：資生堂グローバルイノベーションセンター（S/PARK）3F S/PARK Hall

〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-11

プログラム（予定）

17:00~18:50

- オウンドメディアについて
- 今年度の定点調査について
- パッケージ表示標準化WGの活動について
- 「オートファジーの日」制定について
- 定時社員総会で議決した事項の共有等
- その他

19:30~21:30

- 懇親会（横浜駅周辺予定）



日本オートファジーコンソーシアム：主な取り組み

認証・標準化

経済産業省 令和4年度ルール形成を用いた社会課題解決型市場形成促進事業費補助金に採択

令和4年度ルール形成を用いた社会課題解決型市場形成促進事業費補助金の採択結果について

2022年5月26日
産業技術環境局
基準認証政策課

公募概要

社会課題の解決と事業の持続可能性を両立させる国際的なルールの形成に向けて実施される、フォーラム標準の構築活動を行う事業に対して支援を行うため、以下のとおり公募を行います。

事業内容

社会課題解決型の市場形成を目指す事業者が行う、国際的なルール形成に向けたフォーラム標準の構築活動に必要な、国内外の移動・滞在、情報収集、情報発信、利害関係者への協力要請や会議、新規フォーラムの立ち上げ・運営、既存フォーラムへの参画、フォーラム標準の原案開発・提案等を行う事業に対して補助を行います。

採択事業者

- 一般社団法人日本オートファジーコンソーシアム（法人番号：4120905006084）

事業名：オートファジーコンソーシアムを拠点としたオートファジー現象の国際的な科学的評価ルールの構築と当該ルールに基づく関連商品群（化粧品、化成品、サプリメント等）から形成される新たな市場開拓と規模拡大

日本オートファジーコンソーシアム：主な取り組み

パッケージ表示標準化WG活動概要

【参画企業】



【ガイドライン概要案】

(1) 目的

「オートファジー」を訴求・標榜するために必要な表示基準等の標準的な指針を定め、その信頼性を担保しつつ、事実に基づく正確な情報の伝達を行い、消費者に適正な製品の選択を可能にすることを目的とする。

(2) 定義

- 2-1. オートファジーの定義
- 2-2. 対象品目（用途の範囲）
- 2-3. 対象者の範囲

(3) 表示基準

- 3-1. 表示基準
- 3-2. 表示項目
- 3-3. 表示禁止項目（誇大広告の禁止）

(4) 会員証紙（認証/ロゴマーク）

日本オートファジーコンソーシアム企業会員は、このガイドラインに従い適正なオートファジー表示を行った容器包装の見やすい場所に「会員証紙」を表示することができる。

(5) オートファジーおよび認証マーク表示の条件

日本オートファジーコンソーシアムが別途定める基準を満たすものに「オートファジー」を訴求・標榜することができる。

日本オートファジーコンソーシアム：主な取り組み

2月12日を「オートファジーの日」として登録

一般社団法人日本記念日協会より認定を取得。



【日付の由来】

リソソームの発見者であるベルギーの生化学者クリスチャン・ド・デューブ(Christian de Du) により1963年に初めてオートファジーという用語が公式の場(ロンドンで開催のCiba Foundation Symposium on Lysosome学会)で使われた日であることから。



日本オートファジーコンソーシアム：主な取り組み

今後も多く施策展開を実施予定



- ・ 第3回シンポジウム開催（2023年11月開催予定）

※一般社団法人プロダクティブ・エイジング研究機構（IRPA）、日本プロダクティブ・エイジング アライアンス（JAPA）との共催



今後上記のWGを中心として、生活者の皆様への科学に基づく確かな情報発信と、オートファジー研究成果の産業活用推進により世界中の人々の健康長寿に貢献します。